

AOF分析を活用した PFAS類のスクリーニング分析

～ハロゲンフリー材料の評価にも最適～

東京会場

電子材料を中心に世界的にハロゲンフリーが求められる現在、材料中のふっ素、塩素、臭素、ヨウ素の測定において、益々高精度な測定が必要となって参りました。昨年新たに自動試料燃焼装置AQF-5000Hを販売させていただきました。全世界で幅広くご利用いただいております。最近ではPFAS類の分析でC-IC法と吸着装置TXA-04を用いたPFAS類のスクリーニング分析についてもお役立ていただいております。

本年も来る10月3日に燃焼IC技術セミナーを開催させていただきますので、ご案内申し上げます。電子材料に限らず、樹脂、潤滑油、廃油、土壌、鉱石類、さらには医薬品、中間体、有機合成品など微量不純物分析から高濃度純度分析まで幅広く適用できる高機能分析システムの技術と数々のアプリケーションをご紹介します。

10月 3日 金

参加費
無料

会場：ワйм貸会議室 神田 Room 7

定員：60名

13:00～16:25(開場12:30)

※個別相談は17:00まで対応いたします



第1部：自動試料燃焼装置

30分

新機能を搭載し便利になった装置のご紹介します

第2部：ICの原理と装置紹介

30分

イオンクロマトグラフのご紹介
(サーモフィッシャーサイエンティフィック社)

第3部：アプリケーション

40分

AQFを使って分析した数々のデータと応用例に
PFAS類のスクリーニング分析について

第4部：分析のテクニック

30分

結果に自信が持てない、もっと上手にできないの？
そんな時、すぐに使えるちょっとしたテクニック

第5部：メンテナンス

30分

こんな時どうしたらいいの？正常な分析結果を得る
ため、トラブルを回避するためのメンテナンス法

※ プログラムの内容は変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。
※ 同業他社の方のお申込みはご遠慮いただいております。

お申込みは裏面のURLから

日東精工アナリティック株式会社



セミナーへのご参加は、弊社ウェブサイトの
「イベント・セミナー情報」よりお申込みください。

<https://www.n-analytech.co.jp/>



製品紹介 AQFシリーズオプション

● 吸収液コレクター AC-500



- 吸収液を自動分取し、さまざまな分析装置で測定が可能です。
- 最大 10 mL 分取できます。
- 全自動で最大 20 本分取できます。
- 配管は全自動洗浄するのでコンタミの心配がありません。
- 最大 3 台連結できます。(最大 60 本)

高周波誘導加熱炉ユニット



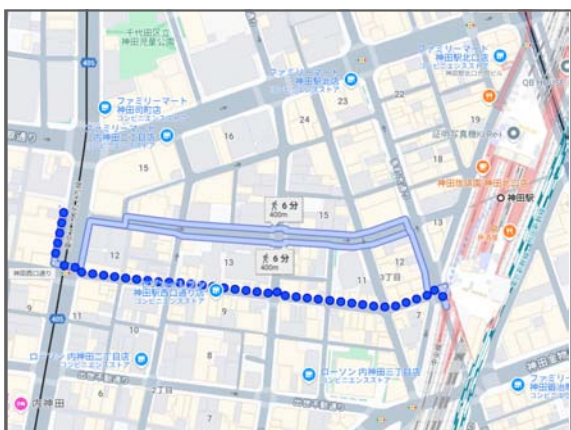
鉄鋼・金属・セラミックスの材料開発や受託分析業務を
支援します。

- 高周波炉により 1,000℃～1,500℃での燃焼分解が可能です。
- 有機物も無機物も専用の反応管の使い分けで、幅広い試料に対応します。

会場までのアクセス:

ワイム貸会議室 神田 ROOM 7A

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-12
内神田東誠ビル 7F・8F



- 山手線・京浜東北線・中央線「神田」駅 西口 徒歩5分
- 銀座線「神田」駅 4番出口 徒歩5分
- 丸の内線「淡路町」駅 A4番出口 徒歩6分

セミナー担当 営業推進部 市川・高橋

日東精エアナリテック株式会社

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1

TEL: 046-278-0052

